

道徳教育研究部

1 研究主題（テーマ）

「主体的・対話的に学び、よりよい生き方を求めようとする心を育てる道徳科の在り方」
 ～『多面的・多角的に考え、自己の生き方についての見方・考え方を深める指導』～

2 研究主題について

【研究部】

研究内容① 児童が問題意識を高めるための学習の総合化の工夫

研究内容② 児童一人ひとりが確かに価値を把握するための工夫

研究内容③ 児童が聴き合い語り合う中で考えを深め、振り返りをするための工夫

【研修部】

「特別の教科 道徳」の基本的な学習過程

3 研究方法(年間活動報告)

日程	時刻	会場	内容	各種委員会等
6月			6月書面総会	
7/1	3:30	宮谷小学校	第1回主題研究会 ・オリエンテーション	会員会費集金日
9/9	3:30	宮谷小学校	第2回主題研究会 ・ワークショップ [°] ① ・ワークショップ [°] ①	会員会費集金日
10/7	3:30	宮谷小学校	第3回主題研究会 ・ワークショップ [°] ② ・ワークショップ [°] ②	
11/4	3:30	宮谷小学校	第4回主題研究会 ・ワークショップ [°] ③ ・ワークショップ [°] ③	
12/2	3:30	宮谷小学校	第5回主題研究会 ・指導案検討(実践提案) ・ワークショップ [°] ④	懇親会
1/13	3:30		・緊急事態宣言によって実施せず	
2/10	3:30	Zoom 会議	第7回主題研究会 ・報告会内容検討 ・ワークショップ⑤	
3/3	3:30	書面開催	第8回主題研究推進委員会 (主題研究報告会…書面開催)	

4 研究の成果と課題（含 第二次研究大会）

今年度はこのような社会情勢の中、「道徳教育研究会」として、会員の皆様と共に作り上げていく研究会を特に意識して運営を進めてきた。授業研究会をすることが叶わず、毎回の実践提案とワークショップが主な研究活動となったが、ZOOMなどを活用したり、事前にメール等で資料を送付し、会員の皆様に考えていただいたことをもとに研究会を進めたりと、様々な工夫を行った。各部会の主な成果と課題は次項の通りである。

☆成果

【低学年研究部】

研究内容① 児童が問題意識を高めるための学習の総合化の工夫

ワークショップでは

「A 善悪の判断、自律、自由と責任」での実態把握や学習の総合化の手立てについて話し合った。アンケートの活用、振り返りカードや生活チェックカード、日記を書く活動を取り入れることで、児童の実態を把握するとともに、問題意識を高め、問題を焦点化させられることを共有した。また、総合化の取組の中で、価値が実現できた場面にも目を向けるようにすることで、無意識に出来ていたことへの価値づけができるため、授業での価値の理解や授業後の実践の意欲にもつながるということを共有した。

実践提案を通して

本時の内容項目につながる児童の意識を高めていくため、学習の総合化の中で特別活動との関連を図りながら行った。

- ① 学級目標と関連させて学習の総合化をしていくこと
- ② 朝の会や帰りの会に自分たちの課題や葛藤を共有し、児童の意識を高めること
- ③ 学習の総合化の中で高まってきた問題意識をクラス全体で事前に共有すること

本時に向けて、学級目標や特別活動等と関連を図りながら学習の総合化を図っていくことは、児童が自分事として受け止めやすくなるため、問題意識を高めるためには有効な手立てになることが分かった。

研究内容② 児童一人ひとりが確かに価値を把握するための工夫

ワークショップでは

道徳的価値とは何かについての検討では、「人として生きていくうえで大切な基本の見方・考え方」「人が行動を起こすときの判断基準となるものであり、生き方の礎となるもの」などの考えを共有した。さらに、指導の際には、学習指導要領から道徳的価値の意義やその大切さを読み、理解したうえで、価値をどのようにとらえるかを考える必要があることを確認した。

実践提案を通して

展開前段で児童が確かに価値を把握していくために成果のあった主な取組として、

- ① 板書を上（価値の実現につながる見方、考え方）下（価値を実現できていない考え）にわけて、価値の実現を明確につかませようとしたこと
- ② 振り返りカードを見返し、自分の姿を見つめる時間を確保したこと
- ③ 振り返りカードを見返し、展開前段において掴んだ価値と自分を照らそうとしたこと

実践提案の検討の中で、板書を行う上で価値把握を色チョークを使いピンクで囲んだり、場面絵（登場人物の表情を大きくしたり良いときとよくない時の顔を反転させたり）を工夫したりすることで、より価値に迫るための手立てとなることを共有した。

研究内容③ 児童が聴き合い語り合う中で考えを深め、振り返りをするための工夫

ワークショップでは

「充実した振り返り」についての話し合いでは、学習の総合化が充実することで、振り返りが充実するということを共有した。また、児童が進んで聴き合い語り合うためには、道徳の時間だけでなく、普段の授業や活動でも一人ひとりが本音を語れるような学級経営に努めることが大切であることも共有した。

実践提案を通して

自分の考えを安心して語れたり一人ひとりの聴く力を高めたりするための取組として、

- ① 自分の書いた振り返りカードを見返しながらか、これまでの自分の行動や考えを見つめ直す自己内対話の時間を取り、自分が語りたい場面や考えを持つようにしたこと
 - ② 友達の振り返りを聞きながら、自分の振り返りと比べながら話すことができたこと
- 形式ばったものだけでなく、日常から言う、伝えるなど自分の話を受け止めてくれる環境が大事である。

【高学年研究部会】

研究内容① 児童が問題意識を高めるための学習の総合化の工夫

- ①振り返りカード等を活用しながら自身の行動や考え方を見つめていく中で、課題となる部分だけでなく、価値が実現できた場面にも目を向けることで、本時での道徳的価値の理解につながる。
- ②児童にとって親しみのある学級目標を生かして学習の総合化をしていくことは、問題意識を高めたり、学びへの意欲につなげたりする手立てになる。
- ③本時で扱う内容について、アンケートや振り返りカードを活用したり、授業前にクラス全体で意識や課題を共有したりすることなど、児童の意識を少しずつ高めるため、学習の総合化を段階的に進めることで考えるべきことが焦点化され、切実感のある学習課題設定につながる。

研究内容② 児童一人ひとりが確かに価値を把握するための工夫

- ①板書は、価値の実現につながる考えを上段に、価値を実現できていない考えは下段に分けて書いたり、黒板の左右から中心に向かって価値の実現につながる考えを書いたりするなど、構造的な板書をすることで本時での道徳的価値の理解につながる。
- ②教材の人物の関係が複雑な場合や、教材で描かれている時代背景などについて補助説明が必要な時にプレゼンテーションソフトを活用して読みの視点を与えることで、教材の内容理解や発問内容の理解につながる。
- ③展開前段で板書にまとめた考えに対して、自分が大切にしたい考えの部分に名前マグネットを貼る時間を設けることで、展開後段で自分自身を見つめる際の視点となる。

研究内容③ 児童が聴き合い語り合う中で考えを深め、振り返りをするための工夫

- ①展開後段において「聴き合い」「語り合う」ためには、学習の総合化の充実や展開前段でねらいに迫る発問構成を考えることはもちろんのこと、児童一人一人が本音で語ることができ、それを温かく受け止める学級風土をつくるなど、日々の学級経営の充実に努めることが大切である。
- ②展開後段の前に振り返りカードを見返し、展開前段につかんだ価値と自分自身の行動や考えを見つめる自己内対話の時間を取ることで、自分が語りたい場面や考えをもつことにつながる。

【研修部】

- ・今年度は市一斉研がなかった分、授業づくりについてのワークショップにじっくり取り組むことができた。特に「授業展開を考えよう」のワークショップを今年度は3回実施した。参会者からは、教材のどの場面を扱うのか、どのような発問を行うのかについて引き出したい考えを明らかにした上で活発に意見を出し合う姿が見られた。さらに、低学年では展開の中に役割演技や動作化を、目的を踏まえた上で適切に取り入れている姿も見られた。
- ・「道徳の45分間の授業の流れ」についてだけでなく、本時の授業を考える前の段階、つまり「児童の実態の見取り方や指導の方向の定め方」について研修を深めることができた。その手立てとして準備したのが「ヒントシート」である。講師の先生のご指導、カリマネ要領に書かれている学年別視点や問題意識を高める指導内容の着眼点をもとに計2回作成した。これまでは「教材から展開（発問）を考える」というワークショップが中心だったが、授業づくりの出発点である児童の実態と指導の方向を加味した上での展開案をじっくりと考えることができた。参会者の様子からは、ヒントシートに書かれている児童の実態をもとに意見を述べたり、学年別視点を参考に発問を考えたりする姿が見られた。

- ・会員のニーズに応える研修を行うことができた。毎回、ワークショップの最後を書いてもらっている振り返りカードにはその日の感想だけでなく、道徳科の授業についての疑問や質問、要望も寄せられる。今年度はそれらに応える形で「研修部だより」を発行した。「より実践的な研修をしたい。」という声に応え、11月→12月の検討→模擬授業という研修を行った。「道徳の授業は教科書に載っている教材だけでないといけないのか。」という声に応え、私たちの道徳に載っている教材を扱ってのワークショップを行った。また、9月に配布した「基本的な学習過程とそのポイント」について、「このプリントをもとに毎時間の道徳の授業を考えています！」という声も聞かれた。



☆来年度の課題

今年度は例年通り主題研究会や市一斉授業研究会を開催することができなかったため、来年度も今年度と同じ研究主題、研究内容で研究を深めていきたい。

- 児童が問題意識を高めるための学習の総合化の工夫
- 児童が問題意識を自分事にするための学習の総合化の工夫
- 一人ひとりが価値を確かに把握するための多様な指導の在り方
- 児童が一人ひとり確かに価値を把握するための工夫
- 児童が聴き合い語り合う中で考えを深め、振り返りをするための工夫
- 児童同士の考えや経験の聴き合いを基に、見方、考え方を広げるための振り返りの工夫

本研究会としては、今年度全体での集合研修が行えない中、試行錯誤しながらも、様々な方法を活用することでより充実した研究会とすることができた。来年度も社会情勢の見通しがなかなか立てることは難しいが、ZOOMなどをさらに効果的に活用し、会員の皆様のニーズに合った研究会にしていきたい。